

建設副委員長の立場から失対工事の現状と申しエります。
戦後十五年たり。最近は何もよくなり、技術面も備つ
てきてあり。益々即ち努力を願うと共に時間的にすこゝな
とあるもの。これを確りと頂くなり。先人のなす事をも
考へなくてはならぬといふ頃から考へてあります。
即ち道にいつても、年末時の一般の雇傭関係が増えて
労働者の多く、即ち道が荒れてゐるのをみても如何に今まで
努力をされてゐるのかどうかかえらる。

平当の關係は隣接の寸との交連もあるが、他の面とも協調、なくてはならぬ。突もあるが、連繫を突はに——より

山下 議員の意見に賛成である。

多くの種とあすーりに
「民から批判を受けるよう」
「議会と」
も困るの「皆さん」
「自体がよくなるように」
「民の批判を受け」
「のりよう」に「」と「執事」たい

「オ十番」西議員の発言のとあり、すなわち先程来の講話のように、とにかく真面目にやっております。技術面でも向上してありますので、委員会に付託

するよう希望します。

斎藤長

昨年の予定の額と労務者の数と御報告願いたい。

末課長

昨年の年未における手当は二、三〇〇円支給してあります。

本市は二、五〇〇円、奥多摩一、〇〇〇円、瑞穂三、四〇〇円、羽村は年道が二、〇〇〇円、都道(国保)一、〇〇〇円と二つに分れております。日給は五〇〇円と同じで、給与は八、〇〇円となっております。青森市は二八、〇〇円、なほ、人員は一五一名が福島の常務員にきており、福島市の対象は九名であります。

今年は一〇〇名以内となります。

議長

本日は建設委員会に付託するにとりまして異議ありませんか。

異議なし。

議長

異議ないので本日は建設委員会に付託します。

一福島の取員の期末手当について

議長

本日はついで陳情書が来ていますので朗読させます。

書記長

朗読

可長

唯一の陳情書と同様のものが市長宛にも出ております。

本日はついても十日の合同会議で協議された。過程において、公家職員、都取員の予定の報告を受けましたが、公家公家職員は一、九〇〇円、都取員は概ね二ヶ月で、二ヶ月から一、八〇〇円と引き、これによる計算し、それに税を入れたら一、八〇〇円を加えるということであり、一、八〇〇円が税対象にならないということであり、低額者は税込二ヶ月より僅かに多い。

都内では昨年は二ヶ月で、至極状態も横ばいで、給与の改訂もあったので昨年はとあり二ヶ月と云う申し合せになつたものであります。

議員期末手当は条例に決っているが、職員も二ヶ月であるから、これを

ニヶ月で申合せが出来た

会議の始まる前に総務委員会と開いて期末手当の懇談とし
たが、取組は平均的な金額程に多少の含みをもたせるよう
に預りし、総務委員会としてやる承を戴き、その支払方法につ
いては予長に任せられた。

期末手当と勤労手当は人々に分けては合せて三ヶ月と云う事です。

一談也

合同会議の全過程は予長説明のとおりで、改めて私からは申し上げま
せん。

総務委員長

年々手当はついで若干の全俸を含めて報告いたします。

夏の手当、或は年末手当は共に生活の連帯資金として

お預りするも、多くもらいたくないし、又も少しも許す限り多

くお預りしたいと預りものが、年々この問題について、即

ち内村では予村長会、議長会の申し合せの線が基準と

なつて、昨日の申し合せ、理事者から説明のようになり、線が

少し提となつて審議したものであります。

今年若干のプラス、或は預りも含むか否かが問題の頂上であ

り、また、議会或は担当委員会に審議するもので、今日ま

での町村長会、或は議長会の申し合せに、予村長会に、予村長会に、

うに、予村長会に、予村長会に、予村長会に、予村長会に、

予村長会に、予村長会に、予村長会に、予村長会に、

予村長会に、予村長会に、予村長会に、予村長会に、

予村長会に、予村長会に、予村長会に、予村長会に、

予村長会に、予村長会に、予村長会に、予村長会に、

予村長会に、予村長会に、予村長会に、予村長会に、

予村長会に、予村長会に、予村長会に、予村長会に、

予村長会に、予村長会に、予村長会に、予村長会に、

予村長会に、予村長会に、予村長会に、予村長会に、

予村長会に、予村長会に、予村長会に、予村長会に、

予村長会に、予村長会に、予村長会に、予村長会に、

予村長会に、予村長会に、予村長会に、予村長会に、

にうろは不審もあるかと思ひます。改訂の取捨制にもとつ
て、福生やらしい論文の改訂が今も来つてあるものですが、
内容については審議肯で、それについて実行してある現況あり
ます。

今回の三月目については合同会議の地位を尊重するといふこと、原
案は三月目として、税金相当視程は理事者には選りかき持た
せるといふことが理事者から出されてあります。この原案とて
提示されたものとして承ったような次第であります。

「オ三番」

税のかん案について内容の説明も願ひたい。

「ア」長

税、板といふ考をなく、その種別の含みも他へ付に比べて仕事
の内容が多いため、多少ア長に任せられ、主任、或は係としての多少
の操作に差についてあんなばいのお来るよう。そうした操作に当て
るといふこと、全部を税、板といふこととなく、責任をもつて
やる。其の操作の調整のお来るよう含みをとたせられたいといふ

ことゝあります。

「オ三番」

それは女給内容の調整といふこと、税の関係ではないといふことか。

「ア」長

そのようである。

「オ三番」

女給にあり、一年末協或は三月末協といふようなものは考へて
いるか。

「ア」長

それは条例に規定されたように三月末協は少なく、更に病氣
その他、休みの多い者は勤効手当にありて差引いてあります。

「ア」長

外に異議ありませんか。

異議なし。

「ア」長

異議ないので、その案のとおり決定します。

議員の期末手当の付も三月で異議ないか。

異議なし。

「ア」長

異議ないので、そのよう決定します。

一 報告事項

「議長 新年の名刺交換会を一月三日といたしたが多割の出席と

希望しております

「サニ番 私と一は一日にやることを望ま—いと思ひます。三日になると色々な面が顔合をかか来るので、おまけは一日のよいと考えます。

「議長 え、おほい—の面が、お難いと思ひますか、どうか。

「サニ番 昨年—から試みに三日と—したが、え、日は学校の式もあり、昨年—で又元旦と云ふことは変な事であるが、おまけは元旦のよいと思ひます—。

「サニ番 中々企業者の立場で三十日は忙しく、元旦にゆっくりと目気分を味うとするには九寸と云う時間は大へなるもので、更に学校と—も元旦の式に議員が来ることは好むものので、生徒を待たせ—おきとは—のふない。三日のよいと思ひます—。

「議長 三日に異議ないか。

「サニ番 議員と—、たからば家産を犠牲に—、まじやうでせりと云うのか、暖いあり、家産は忙しくても犠牲に—、一日にやることか、よいと考えます。皆、昨—三日のよいなう、おまけでもよい。

「サニ番 議会の出席—、状況を発表願ひたい。

「必死闘を つづのとあり—報告する。

「サニ番 一月三日は一日—通知を—した者 一五名、出席—した者は三十名、うち議員八名、一般二十名、取調の他に三十名あります。昨年—は一—一名に通知し、出席者—四人、議員八名、横田基地三名、一般—四名、他に取調員八名で計—六名とあり—ます。

「サニ番 担当委員会に決めたのなら、私の案は撤回—します。

議長 されば一月三日と決定した—ます。

「サニ番 議会は一月八日、午後一時から—します。

「サニ番 十一月の議員大会に「幹線道路の整備」を提えにつけて、

意見発表を——ま——たか、ま——し、礼申——上げます。

「サキ番」新聞紙上で見たと思ひます。大多テ親交連盟が発足し
その記念として、読売新聞の共賛により、「大多テ十票」
の選挙コールに於十一日（一日）から十日まで行なわれ、その順
位の五日新聞に発表され、その中——福生のセタが二八
位で十三票入っており、今回の得票は十一万六千
余票で、親交事業は拡大な地域の中——必要に——行なわれ、
福生も——も親交面——特に商店街の賑——をはかうと
する行——事——のなかに、セタコールがあり十手間の「更
さの」にセタまつりであり、入間川の「史や・
平——塚のセタの大きなには比べられ、デコレーションにつ
いては、一頭地を抜いてあると云われであり、今回のコールに
——入——たのは福生からセタだけであり、十三票と云う
票はあまりにも、理事者、或は指導層の熱意が足りない
のではなからうか。

このような関連をもつものは熱意が必要であり、産業課に
質問するが、これは「坂が」おたものかどうか。

「産業課」本——に——つ——つは、の掲示板に貼ったポスターにより「坂住民
から入ったものと思ひます。」

「サキ番」に長い質問——ですが、「福生」と云う名も正確に解するものは
ない。大きな発展をする——馬には自今、の——を何と云う
「アッ」するようには考え、やのなく、はなうない。

産業振興の事業としてセタに力を入れたものとして
今度の親交コールに——つ——つも相当重宝をおかなく、はなうない
中間発表もあったし、サキ番の立場で選挙の審査にもと
つていたと思ひます。の——見解——も発表願ひたい。

「サキ番」大多テ十票は郡内市——村——選入で、親交コースと云うたり
或はポスター——する——と云う——と、考えられ、サキ番と云う色の

優小なとうとなく止むを得ずセタまつりさあ——た。一年間
に三日間だけのは風景に入らないうと云う話も聞いたし。又面白
い行事であるとも考へた。知——それともその時期をすくすくは
見ようとするのでどうかと思ひあきらめてもいた。外にすくすく止
むを得ずだ——た。これは大多十票とは別段に宜任につとめな
くつはるうなりと考へています。

どうしたわけか途中でからあきらめていた。

第十一番。当然わく外にあると思ひますか。福まかうおいてるのはそれだけ
の愛の心をもつなら。市長の名譽にかけても十票くらいは
作爲があつても必要であつたと思ふ。残りに堪えない

第十二番。担者委員会——つても申談なく思ひますが、市長が十票に選んだこ
とと何故建設委員会に述べたのか。産業課長からも「あかう
十三票あつたと思つておられますか。私は官制にかき三票
とあ——あります。私かまゐる置いたりは大へん申談ないか五〇選

と霞村かう岩倉温泉に振ける七位には是非——当選させたいと云
う。私も那里からの要望で五通ぐらいつ、十通に今つてあ——七位
に入ら——た。それ程の地元の熱意があつたのであつたか七位にも
選できたもので。今後——た催がある場合は是非——委員会に
報告さすたい。

第十三番。唯今の発言を聞いていますと愛の心が外に向つていふように
思へて残念である。五〇票も外に投じて三票かセタであると思ふ
建設委員長と云う立場がなかつてもそれでは当然セタまつりに投票を
すべきものと思ひます。五〇票も他に入つたなどと思ふことは
は逆に責任をとりべきではないかと思ひます。

第十四番。副委員長のあ——でもつてもあります。五〇票を入れたのは早く
途中でセタもあつていふことには気がつき、五〇票を入つたと思ふ
中間発表をきいて、その日だと思ひます。三票を入れたものの
五派に候補地——上つていふことである。中——商業

今午にも申し上げて一先急命—やることだと思ひます。
私頃、神地によつてゐることをなにもせんもので、失念—たこ
とに申—成ありません。

「十九番」 田村、議員の意見がふいふものであります。その指導者として
予りすべての問題に、審判心をもたなくてはならぬもので、
唯今の問題も、候補に上つてゐるならば、理事—者は全面的にその
方法をとるべきであつて、駄目だと言うならば、候補にのせないとい
ふかえつてよいのではなからうか、そのような考へをもつて戴きたい。
議会の中—にある委員会は委員長名で招集されるが、その考へ方は
理事—者にあると思ふもので、この奥、昨、五月十一日に改選さ
れた高取対策委員会が一度も開催されなかつた理由は何か。
「二十番」 七ヶ月に上つて、実情は新聞にあるまゝ、私も知らなかつた。
大多く連盟ができて十景と違ふところを知つてゐた。たま
く、連盟から連絡され、又新聞社から通知があつて、詳細を知
つたもので、予り承知したい。

高取対策委員会に上つても、派手—委員長からも申—あつた。資料
を集めるよう事務局にも連絡—をとり、先般委員会を開く
と云ふことであつた。だが、たま— 協同作業場をみつけた
後、よいのではないかと云ふこと、砂川の作業場を視察—したも
ので、近く委員会を開くことになると思ひます。

「十九番」 実際、基盤に努めてゐる人が、福生に多くあり、財政上にも大きく
影響—を及ぼす。三つ—の高取対策委員会、一—委員会と云ふ
ことはわかりませんが、委員がその内容によつてはよくわかつて
あつた。また、基盤に努めてゐる方が、昨—の、頼みがあるといふ
関係から、何—故、早期に開催できなかつたか、資料—如何—
なく、^至過期説明と、議員の意見も聞くと、は当然、開かなくてはな
らなかつたのではないか、早急に開催するようお願ひする。
「二十番」 議員— 監査の立場から発言があります。

「オ」番 そのうに商討委員長より、委員会を閉かなかつたことについて早急に閉くよう理事者にも要請してありたが、如小について商討策略談合の幹部の人達と話合つて結果其同の作業所を設置して欲しいとそう要請があり、十二日夕方に協同作業所を視察し、昨日は入河川の作業所も見学し、資料を集めてあり、尚一層検討して早急に委員会を閉くよういたしたいと思ひます。

また、監査委員の立場よりお預つたことは、昨今、議員の女性年令の立法化の問題が起つてありますが、これは時日を要する問題でありますので、この際、議員の女性制度を設けたら如何と考へます。これは四年毎の改選にあたり、退取金制が禁よさ小てゐるので、記念品と云ふことになり、理事者が困難をいたますので、何かつくつておいた方がよいのではなから、担当委員会に検討するよう希望いたします。

「カ」番 農業振興協談会について、事業も振興させるには担当の取組をおくことが必要で、却て協談会にあり、この内容も一般農家に知らせることが必要あり、またに担当を取組が定らなつのは残念である。

「キ」番 退取金制は、仕事から引退するよう協議してあります。更に前知照についてもおつたりしたものをつくつてやく必要を感じており、全体的に組替へるよう考へてあります。

「ク」番 一つだけのポストをう向單一ですが、幾つかのポストも動かすことゝするものゝ急ぎにさうした点も考慮してやりたい。漸く修余と頼りたい。

「カ」番 オミ議員の提案も取上げ、担当委員会に審議されたい。

「ケ」番 議員の退取金制は法制化し叫ばれており、法制化されることと思ひます。が、色々面で意見もあると思うので、小で閉合してよりか。

「コ」番 オミ議員の提案も委員会付託とされたい。

議長 本日は、總務委員会に付託で異議ないか。

異議なし

議長 要議ないので、總務委員会に付託します。

一 三番 議長 付私の発言を議題として取り、五番議員の発言を認めたいのは何故か。議事運営上注意を促したい。

議長 議事運営上平落と認めます。

一 十番 三番議員の提案木について、退取金制などに結びつけた共済制をとろうとしてあります。今後審議する上に一般の共済制をも併せて

研究してやうとを含むおき願いたい。

一 十九番 議事運営上発言を取り上げる上に注意願いたい。

議長 本日の協賛会を終りたいです。